



※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話を覚えてみよう

vol.21

やってみよう!～身近な言葉の手話～
普段使う言葉を手話でやってみましょう。

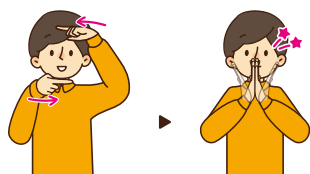
○聴導犬

聴導犬の最大の役割は、聴覚障がいのある人の「耳」として、音が聞こえないことからくる不安を軽減し、安全な生活を支えることです。警報器の音や赤ちゃんの泣き声、タイマーの音（電子レンジ、洗濯機など）、ファクスや電話、ドアのチャイムなど、生活をしていく上で必要なさまざまな音を覚え、離れたところで音がした場合でもそれを教え、音源まで誘導します。

「聴導犬」の他、目の不自由な人の歩行を助ける「盲導犬」、肢体不自由の人の生活動作を助ける「介助犬」を総称して「補助犬」といいます。

公共施設や公共交通機関、スーパーやレストランなどは、補助犬同伴の受け入れが義務付けられています。

初詣



「お正月」と「お参り」を組み合わせた手話です。両手の人差し指を左右から引き寄せて上下に置き、次に両手の手のひらを2回たたき合わせます。

成人式



両手を指文字の「コ」の形にして向かい合わせて同時に上にあげ、次に上に向けた両手4指の指先を同時に直角に前に曲げます。

※QRコードを読み込んで、手話の動画を見ることができます。

問い合わせ先 福祉支援課障がい福祉担当 ☎(584)1127 📠(584)1154



vol.20

自治会通信

自治会加入が暮らしの安心につながります



自治会加入
申し込みは
こちら

若葉台東地区自治会 元木 徹会長

若葉台東地区は、令和6年に40周年を迎え、9月の秋祭りに合わせて、記念式典を開催しました。式典では、地域住民代表として、地域に長く住む住民が40年の思いを伝え、それを受けて、これからを担う中学生が若葉台東の未来について語り、自分たちが住む地区への思いを世代を超えてつなぎました。

近年、若い世代の転入も増えてきましたが、高齢化も進み、見守りが必要な世帯も増えてきています。見守りが必要な世帯には、地域が一体となって見守りや声掛けを行う「ご近所のつながり活動」を実施しています。自治会を主体に、民生委員、社会福祉協議会、地域住民などで協力して取り組んでおり、さらには、若葉台東地区の特徴として、春日東中学校のボランティア部も一緒に訪問活動を行っています。訪問時に、中学生が手作りのメッ

セージカードをプレゼントするなど、高齢者からも大変喜ばれています。

また、住民同士の交流を深めるため、餅つき大会、ニュースポーツ大会、世代間交流などたくさんの地域行事を実施しています。

若葉台東地区自治会は「心温か（あったか）大家族」をスローガンに、いつまでも住み続けたいまちであるように、これからも子どもから高齢者まで地域を挙げてお互いに支え合うまちづくりに取り組んでいきます。



▲中学生による高齢者訪問活動

問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当 ☎(584)1111(代) 📠(584)1153